

2026年度 保護者向け & 支援者向け CARE認定ワークショップ

子どもとの間に温かな関係を築くための基本的なスキルを
ロールプレイを通して学びます。

ワークショップ参加者には参加証が発行され
学んだスキルをご自身が子どもと接するときに生かすことができます。



支援者向け (1日のみ)

対象：発達障害(疑いを含む)の
あるお子さんの支援者

2026年8月6日(木曜日)

10時30分～16時30分
(10時00分受付開始)

保護者向け (2日間)

対象：発達障害(疑いを含む)の
あるお子さんの保護者

2026年10月16日(金曜日)

2026年10月30日(金曜日)

10時30分～13時30分
(10時00分受付開始)

会場：いずれも秋田市文化創造館2階スタジオB

(※当日はお子さんを連れての参加はご遠慮ください)

【講師】(いずれもCARE-JAPAN認定ファシリテーター)

小学校講師・助産師 熊谷 真愉子 氏

秋田県発達障害者支援センターふきのとう秋田

臨床心理士・公認心理師 荒川 祐介 氏

秋田県立医療療育センター臨床心理部門

臨床心理士・公認心理師 西館 千瑛 氏

秋田県立医療療育センター臨床心理部門

公認心理師 矢萩 楓 氏

お問合せ

秋田県発達障害者支援センターふきのとう秋田

TEL018-826-8030 (9:00～17:00、土日祝日を除く)



CARE (Child-Adult Relationship Enhancement) とは、
米国オハイオ州シンシナティこども病院で開発された、
子どもと関わる大人のための心理教育的介入プログラムです。
PCIT (Parent Child Interaction Therapy) などの
エビデンスの確認された心理療法をもとに作られました。

CARE とはこういうものです

- ☆子どもと接するとき大人がたくさん使うといいスキルと、
避けたほうがいいスキルを具体的に学びます
- ☆褒めるスキルを使って親子関係をより深めることを目的としています
- ☆CAREが主に対象とする子どもの年齢は2～7歳ですが、小学生、
中学生の子どもにもスキルを調整して使用することができます

CARE とはこういうものではありません

- ☆心理療法ではありません。そのため、医師や心理士に限らず全ての
大人が、子どもに接するときCAREスキルを使うことができます
- ☆ 専門家受診が必要なほどの強度行動障害を治療するものではありません。
子どもとより強く安定した関係性を築くためのスキルと、困った行動に
日常の中で対応するコツを学ぶプログラムです
- ☆本研修では個別の事例について相談することはできません。あくまで
CAREに関する知識とスキルを学んでいただくことに重点を置いています。

お申込み

二次元コードを読み取っていただくか
ホームページ内からお申込みください
お申込み間違いにご注意ください。

※募集は6月1日より開始いたします。

支援者向け



保護者向け



締切り

支援者向けの締切りは2026年7月19日(日曜日)、
保護者向けの締切りは2026年9月27日(日曜日)です。
※期日前でも定員になり次第、締切ります。

連絡事項

- ・申込フォーム送信後、申込受付メールが送付されます。
- ・保護者向けプログラムは1日のみの参加はできません。
2日間の参加となります。
- ・キャンセルの場合は、前日まで必ずご連絡ください
- ・研修内で玩具を使ったロールプレイを予定しています。

